



水門 義昭 議員

平成24年度予算

平成24年度予算

【問】高山市議会「新風会」予算要望の反映は。

【答】「新風会」要望の56項目のうち実施または一部実施するものなどが53項目、引き続き検討するものが3項目と、できる限り予算に反映させた。

【問】行政改革大綱との関連はどの様に反映させたのか。

【答】行政改革大綱実施計画に掲げる196の項目の達成に向けて、職員の適正配置を図り、地方債残高も目標に向けて24年度末には全会計で約786億8000万円の見込。

【問】新たに第2次地域主権一括法の影響は。

【答】法に係る40法令の事務のうち、身体障

害者福祉法に基づく相談員の設置など33法令の事務が移譲されることになっている。

【問】予算、決算審議の改革について、事業別の導入に対する考えは。

【答】地方自治法施行規則に定める様式に従っている。高山市独自の予算資料や予算のポイントなどを作成し、

できる限りわかりやすく示している。人件費も含めた事業別コストは重要であると認識しているが、課題も多い。引き続き研究していきたい。

【問】事業評価の外部評価も含めた今後の取り組みは。

【答】市の事業を市民などの第三者の視点から評価し、客観性・透明性を高めることは重要。市民満足度調査など事業の対象や、どの様な方法で行うのか検討する必要がある。いずれにしても、事業成

果のさらなる向上、行政コストの一層の縮減につなげていきたい。



新風会要望書と予算審議資料



渡辺 甚一 議員

農業250億円産業への支援は？

農業振興策

【問】認定農業者数は。

【答】平成22年度で、571の経営体があり、県全体の26・3%。

【問】認定農業者を増やす取り組みは。

【答】新規就農者や後継者確保には、指導農業士の協力で就農研修などを実施。「人・農地プラン」の作成により、農地集積や地域農業のあり方の検討を進め、地域農業経営体を育成していく。

【問】畜産における獣医など、技術者の採用は。

【答】獣医の必要数確保は畜産業の振興に重要で、農業共済事務組合や関係機関等と調整検討していく。また、営農面では県普及指導員やJA営農指導員等

と連携して支援していく。

【問】農業生産額を、どう250億円にしているのか。

【答】「高山ブランド」の市場の拡大や開拓への取り組み。生産・加工・販売・観光等が一体化した新産業の育成も必要と考えている。



ハウス農家、おり菜の収穫風景

消防団ポンプ庫

【問】団車庫のトイレの

整備については。

【答】131庫の内、現在トイレの無いものが61庫あり、改築改修に合わせて整備する。

【問】火の見やぐらの安全性については。

【答】現在22箇所あり、最も古い物で46年経過している。ホース乾燥塔で利用している物は安全対策をして、不要な物は撤去する。

資源リサイクルセンター

【問】次期焼却場の場所の選定は。

【答】候補地の特定はしていない。収集コスト・道路整備・必要面積等を調査中。市民への公募も含め、検討しながら選定していく。

【問】第一埋立地処分地の跡地利用は。

【答】地盤が落ち着くまでは災害時の仮置き場として使用。第八次総合計画に向け、関係町内会や市民の意見を聞くなかで検討する。